

## 年間を通して啓発活動を行っています。

相模原市では、相模原市子ども家庭課・相模原市児童相談所・さがみの里親会・相模原南児童ホーム内、フォスタリング機関の4か所がそれぞれの立場で協力しながら、子どものための里親制度の普及啓発に取り組んでいます。

### 2022年度に実施した里親制度啓発活動

4月	
5月	インターネット広告 わかばまつり
6月	・図書館展示(緑区)(中央区) ・パネル展示(緑区)
7月	里親制度説明会(緑区)(ソレイユさがみ)
8月	・インターネット広告 ・バス広告 ・図書館展示(中央区) ・パネル展示(中央区)
9月	巡回相談(中央区)(児相)
10月	里親月間事業(ホームタウン連携事業)
11月	インターネット広告
12月	・図書館展示(緑区)(中央区) ・パネル展示(緑区)
1月	里親制度説明会(南区) (ユニコムプラザさがみはら)
2月	・バス広告 ・図書館展示(中央区)
3月	巡回相談(中央区)(児相)

年間を通して活動することで、里親活動に興味のある方が、年間2回行われる里親研修へスムーズに参加でき、里親が増えるよう取り組んでいます。

### 相模原市里親登録数

2012年 40組  
2022年 94組 10年で2倍以上に増加しています!!

## ～心理の仕事(職員向け研修)～

### 「学び、楽しみ、活かすこと」



相模原南児童ホームでは、職員の方に向けて研修をしています。子どもの健康や栄養等の色んな事を研修で学びながら、子どもたちの生活へ活かせるように取り組んでいます。

2022年4月からの勤務ですが、私も心理職員として職員の方へ研修を行っています。その中で、子どもの発達、子どもとの面接、トラウマ等の研修を行ってきました。

研修は座学を中心に行う事もあれば、複数人での話し合い、ロールプレイをすることもあります。研修をするにあたって、『分かりやすく伝えるにはどうしたらよくなる?』、『研修を楽しんでもらえるにはどうしたらよくなる?』、『研修で行ったことを子どもたちとの生活の中で活かして貰う為にはどうしたらよくなる?』といったことをああでもない、こうでもないと言いながら研修の準備をしています。研修をした後は職員の方からの感想や意見を直接聞いたり、アンケートを取ったりします。職員の方が研修を通して感じたことや学んだことを聞き、それぞれの考えや意見を聞くことは私自身も学びになっています。

研修終わった後の感想では「子どもたちの安心感を育てていける関わりをもっとしていきたい」「子どもとの信頼関係を大事にしたい」といった話をよく聞きます。こういった話しを聞くと多忙な日々の貴重な時間を使って研修に参加して、子どもたちのことを思う職員の方の誠実さや思いやりを感じます。そして、研修といった学びの場は私の力ではなく、職員の方の人柄や意欲の中で有意義なものになると改めて感じています。

職員の方が子どもと関わっていく中で、子どもが安心感を抱けること、人を信頼できること、誰かと一緒にいて楽しいと思えること。研修はその為にどんなことができるのかを考える機会の一つになればと思っています。(心理療法担当 黒岩)

## 「笑いあり、涙ありの駅伝大会」

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央



2月19日(日)、新磯小学校で「新磯を友情と絆で走ろう会」(3人1組の駅伝大会)が開催されました。ホームからは子どもたちと職員の混成チームで15名が参加しました。昨年もエントリーしていましたが、コロナ禍で中止になったため、2年越しの大会となりました。日頃の練習より頑

張ってきた子もいれば、泣きながら最後まで頑張った子もいました。笑いあり、涙ありの駅伝大会でしたが、最後は皆、笑顔で終わることができました。大会を運営して下さった地域の皆様、ありがとうございました。

今年は2名の高校生が卒園を迎えます。1名は専門学校へ進学、もう1名は就職です。10年前までは就職する子どもたちが殆どでしたが、奨学金等の制度が充実したこと、選択肢の幅が広がりました。最近では、「大学院へ行って自分の研究に打ち込みたい」と大学院に進学する卒園生も居ます。夢や希望を持って社会に巣立っていけるよう私たち職員も退所後のサポートにも力を注いでいきたいと思えます。

## ご寄付頂き、ありがとうございました

相模原市南区の鹿島道路株式会社 横浜支店 相模材製造所 所長 小野塚様より、園庭にある砂場の砂をご寄付頂きました。

砂場で遊んでいるうちに、砂が少なくなっていました。砂場に山が出来るくらい砂をご寄付いただいたので、子ども達も大喜びで遊び始めました。誠に有難うございました。(副所長 手塚)



相模原市南区のまるしげ不動産 代表取締役 荒川滋良様より、子ども達にゲーム機(Switch)とゲームカセットをご寄付頂きました。コロナ禍で、室内で過ごすことが多くなった子ども達にとって、とても嬉しいクリスマスプレゼントでした。

プロジェクターで画像を大きく映し出し、大画面でマリオカートゲーム大会をしたりして皆で楽しんでおります。誠に有難うございました。(副所長 手塚)



## ご寄付お礼【2022年10月～12月】

株式会社セクメット 瀬戸誠 様/サンラッキー相模原店 様/日広建設株式会社 様/鈴木 由郎 様/ニラク 海老名本郷店 様/上田 恵利佳 様/Medical Rainbow 渡邊 様/山本 隆 様/門倉 松雄 様/横浜保育福祉専門学校 様/北口 文 様/安藤 正子 様/三輪谷 さくら 様/ナミエル 様/相武台リハビリデイサービス 様/株式会社ザ・シティ相模大野店 様/株式会社フレーベル館 様/菱沼 経真 一同 様/株式会社ネイバーシティー 様/有限会社 鎌田乳業 様/さがみの里親会 様/三ヶ木 郁 様/坂本 龍馬 様/坂井 瑞穂 様/全国シャンメリー協同組合 様/ほっともっと 様/会田 吉美 様/株式会社アステップ 様/たいまつ食品 株式会社 様/株式会社 まるしげ不動産 代表取締役 荒川 滋良 様/日本ベビーフード協議会 様/NPO法人 Wish 西村 様/公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団 様/株式会社 スマイル 代表取締役 井上 廣一 様/神奈川トヨタ自動車株式会社 様/藤野 充子 様/株式会社 カレンズ 代表取締役 木村 仁 様/株式会社 三景 代表取締役 角谷 豊人 様/トムス・エンタテインメント 様/アサヒビール株式会社 様/株式会社SL Creacions 様/他匿名1名

熱いご支援、ありがとうございます。

## 会議室の貸出について

会議室等のお部屋の貸し出し、親子サロン、学習支援におきまして、現在新型コロナウイルス感染症防止の関係で、ご利用を控えさせていただいております。再開にあたっては、ホームページ上にてお知らせ致します。ご理解・ご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

## 子ども達の生活の様子

# 職員だより



### 虹ユニット



虹ユニットは現在8名で過ごしています。小学4年生から高校2年生までの幅広い年齢の女の子と一緒に暮らしているので、普段はなかなかみんなで過ごすことはありません。しかしいざユニットでイベントをすとなればみんなで楽しく過ごすことができます。ほぼ全員が思春期だということも相まって、でかけた際に全員で仲良く一緒に行動するというわけにはいきませんが、イベント自体に参加できない子はおらず各々で楽しく過ごすことができます。

小さなイベントとしてはリビングでYoutubeを流しながら踊ったり、テレビを使ってゲームを楽しんだり、ボードゲームやカードゲームをみんなでやることもあります。自分のやりたいところだけやる形なので誰かに強制されることもなく、子どもによって見ているだけだったりまとめる役を買って出たりとそれぞれが思うように参加しています。他にも季節の行事として夏にはベランダで流しそうめんをしたり、年始に近くの神社に初詣に行ってみんなでお参りしています。

大きなイベントでは12月の終わりに宮ヶ瀬ダムのイルミネーションを見に行き、屋台で食べ物を買って食べたりきれいなイルミネーションを楽しみました。屋台で食べる物もそれぞれが食べたい物を考え、自分に配分されたお金を上手に使って食べました。今年がかなり寒い年でありイルミネーションを見に行った日も厳しい寒さでしたが、冬の夜空に映えるライトを全員で楽しみました。

虹の子は自立している子が多く普段は割とマイペースに過ごすことが多いですが、何かあれば団結して動くことができていると思っています。私は三つのユニットに所属したことがありますが、思春期という多感な時期にこの団結力はなかなかつかれないのでこれからもユニットのこの空気を大切にしていきたいと思っています。

(児童課 吉田)



### 愛ユニット



現在、愛ユニットでは、高校生3人、中学生1人、小学生3人の計7人の子ども達が生活しています。年齢の差が大きいためか、お互い不満もありますが、小学生が宿題で困っている時、自然と高校生が、教えてくれたり、ゲームと一緒に盛り上がっていたり、微笑ましい場面もあります。小学生は、男子に劣らず大変元気なので、毎日ぎやかに生活しております。最近で印象に残っているのは、節分とバレンタインです。節分では、ユニットに鬼が現れ、容赦なく豆をまいて退治している姿はとても楽しそうで、すこし鬼がかわいそうに見えるほど、力強いです。バレンタインにおきましては、毎年なのですが大変な騒ぎです。見ていて感心するのが、それぞれが作り方を自分で調べ、お小遣いと相談しながら、決めていることです。特に高校生の気合いの入りがつりつきたら、すさまじいです。一人ひとり個性のある違うものが出来上がり、子ども同士で交換したり、職員の間で作ってくれました。満足にできあがり、嬉しそうにしている姿はとても可愛らしいです。

春になると、新たに中学生になる子ども、中学3年生、高校3年生と大事な時期に入る子どもがおります。特に、高校3年生は卒園後の生活において、何が自分にとって良い選択となるのか、理想と現実の中で、やるべきこと、決めなければならないことたくさんあります。当然気持ち不安定になることも出てくると思います。そんな時こそ、ユニット職員がそばで見守ってあげられるように、気持ちに寄り添い、大事な時期を一緒に乗り越えられればと思っています。(児童課 前田)

### 歩ユニット



歩ユニットでは現在6名の児童が生活しています。どの子どもも元気が有り余っており、グラウンドでの外遊びはもちろん、室内でもとても活発に活動しています。

コロナが再度広まり、子ども達の活動にも制限がある中でもユニットでは出来る限り子どもが満足できるように努めています。新年明けてからは初詣を計画しユニット児童を連れて神社に行き一年の祈願をしています。初詣自体が初めての子どもがいたり、たくさんのはじめてに触れるとともに、その行事についての知識を深めることが出来ました。その後も時間があれば近くの公園で遊んだり、イベントごとだけでなく子どもを退屈させないような工夫をしています。

他にも休日にはユニット内で制作やお菓子作り等、外出ができない故にユニット内でできる事を日々模索しています。バレンタインデーが近くなると子どもたちからの要望でチョコレートやクッキーを作りました。お菓子作り自体減多に行う事が無いので、これらの製作でも子どもたちにとっては特別なイベントになっていると思います。幼児ユニットとして出来ることは限られますが、限られた活動の中で子ども達にどれだけの特別を与えられるか考えるだけでもとても楽しいです。

また、地域の方々からの寄付もあり、施設にクレープのキッチンカーが来ていただきました。子ども達に大きなクレープをふるまっていただきました。中にはクレープをはじめて食べる子どもがいて、口いっぱい頬張りながら幸せそうな笑みを浮かべていました。

最近(2月現在)はコロナも少し落ち着きはじめ、子ども達も毎日楽しそうに幼稚園や小学校に通っています。毎日のようにいろいろなエピソードを話してくれるので、こちらとしてもとても安心するとともに、子ども達が楽しそうな顔をするのでこちらもとても楽しい気持ちになります。これからもコロナに負けないように楽しい毎日が続くことを願っています。(児童課 野口)

### 翼ユニット

翼ユニットではコロナ禍で外出制限がある中、毎日各々の時間を過ごしています。

基本、桃鉄やスマブラ等のゲームを年長者年少者関係なく仲良く遊んでいる姿が見られます。ゲームだけでなく外で元気よく遊び、中学生は地区マラソンに参加する為、練習を頑張っていました。また、隣の実ユニットに幼児ユニットの子たちが仲間入りした事で翼ユニットの小学生も沢山遊べると喜んでいました。

クリスマスや節分等のイベント事を施設内で盛り上げ、ユニットの中で楽しく過ごしたり、クレープやスパイク等の寄付を頂いたりとありがたいことに沢山の支えが子ども達の様々な経験になりました。特にサッカーが大好きな男子ユニットではスパイクを買ったことがとてもうれしかったようで「カッコいいでしょ」と見せびらかしに来てくれました。

今年は高校受験を控えた児童がおり、高校を何校も見学し自身の学校生活を想像しながら志望校を決める事が出来ました。その後、目標に向かって勉強に励む姿が見られました。過去問を調べたり、勉強法を考えたりと職員と共に受験合格に向けて努力していました。合否発表はまだ先ですが試験を終え「頑張ったよ」とやり切った顔を見せてくれました。

卒園を控え、施設を出た後の生活や進路を考え始めた児童もいます。職員と話し合いながら未来の自分を意識していけたらと思います。(児童課 伊沢)

### 実ユニット



年が明け、男子ユニットには大きな動きがありました。幼児ユニットの子ども達が3人、男子ユニットに仲間入りをして、大変にぎやかな日々を送っています。上がったばかりの子ども達は「男子ユニットの職員さんは優しくしてくれるかな?」「大きいお兄ちゃん達は遊んでくれるかな?」と不安もありましたが、今では元気よく「〇〇さん、一緒に宿題やろう。」「〇〇君、一緒に遊ぼう。」と声を掛けてくれるようになりました。迎えてくれた大きい子ども達も最初は「小さい子達はうるさいからー。」「泣いたりしたらどうしよう。」と同じように不安を感じていました。しかし今では、「ゲームやろやぜ。」と遊びに誘ってくれたり、「今は朝の時間でまだ寝ている子もいるから廊下は静かにしないとイケないんだよ。」と優しく、男子ユニットでの過ごし方を教えてくれる姿も見られるようになりました。

年齢差が大きくなった男子ユニットですが、お互いに関わり方を考えながら、少しずつ一つのユニットとしてまとまってきました。また、年度末が近づき一部の子も達は将来へ向けて進路選択をしています。

高校受験を控えた子どもは多くの高校に見学に行き、高校の次のステップを見据えて12月によく第一希望の高校を決め、無事に合格することが出来ました。周りの方々の援助もさることながら、子ども自身の努力が実った事は大変嬉しく思っています。また、別の子どもは卒園を控え、自立に向けて生活の場をどうしようか、一生懸命考えていました。担当の職員は子どもの気持ちに寄り添い、粘り強くサポートをしてきており、子どもの将来の生活の場を一緒に整えてきています。

子どもによってその進路は様々ではありますが、今後一人一人の希望や気持ちに寄り添いながら、子どもにとって最適な選択を取れるよう職員も精進していければと思います。(児童課 杉山)

### 蕾ユニット



蕾ユニットでは現在5人の子ども達が生活しています。平日は幼稚園や施設内にある日中保育室に行っています。休日は外のグラウンドで遊具や砂場で遊んだり、施設内の地域交流室で遊んだり、施設の近くにある河原を散歩したりしています。たまに近くの公園に行ったりもします。

最近ユニットいた小学1年生3人が全員ユニット移動になりユニットの雰囲気が変わりました。人数が多かった分賑やかで喧嘩や小競り合いが多かったのですが3人いなくなったことでどこか寂しい雰囲気が漂っていました。最初は子どもたちもユニットの雰囲気に慣れずに平和で静かな感じでした。そこから2か月経ち喧嘩や小競り合いが多くなり賑やかになってきました。

相模原南児童ホームでは季節ごとの行事を大切にしている直近では節分があり食事のメニューで恵方巻を作ったり寄付で恵方巻を頂いたりしました。子ども達に恵方巻を食べる時に黙食することの意味を教えたりしながら食べました。

2人の職員が鬼役となりユニットのベランダから来るということ子ども達も理解して鬼が来る前までは豆を投げる気満々で鬼まだ来ないの?と言ったり待ち構えている感じだったのですが、いざ鬼が来ると予想以上に鬼の恰好と声怖かったのか1人を除いて来た途端泣きながら自分の部屋に逃げてしまったり鬼が来る前の威勢の良さが一瞬でなくなり結局ほとんど豆を投げずに終わるといった様子でした。

ありがたいことに相模原南児童ホームに寄付を頂くことが多く、先日もキッチンカーでクレープを焼いていただき子ども達に振舞っていただきました。子どもたちも寄付が来ることを楽しみにしていたので少し冷たい風が吹いている中でしたが子ども達も嬉しそうに口周りにクリームをつけながら食べていました。最後にしっかりお礼を言う事ができました。(児童課 深津)



## 七五三のお祝い

新型コロナの影響で延期が続いていましたが、1月21日(土)に座間神社にて無事に2名の子ども達の七五三のお祝いをする事が出来ました。

当日7歳の女兒はピンクの着物に髪飾りとお化粧を可愛く仕上げてもらい、5歳男児は黒の羽織袴に扇子を持ってかっこよく、玄関前では沢山の職員に声をかけてもらいとても嬉しそうに出かけて行きました。履きなれない草履で境内までの階段を苦戦しましたが、それもよい思い出です。

七五三は子どもの長寿と幸福を祈願する行事です。どうか健康やかに育ちますように、一日一日元気に過ごしてほしいと切に願っています。(児童課 鳥井)

